

平成26年度第10回福島県原子力発電所の廃炉に関する  
安全監視協議会現地調査実施要領

平成26年12月24日  
福島県原子力発電所の廃炉  
に関する安全監視協議会

1 目 的

12月2日に開催した当協議会での確認内容を踏まえ、3号機使用済燃料プール内ガレキ撤去作業の実施状況、年度末までに構内の汚染水を全量処理するために導入したRO濃縮水処理設備の安全対策、汚染水貯留タンクのリプレースに伴うフランジ型タンクの解体作業の安全確保状況、J6エリア移送ラインでのALPS処理水の漏えい現場の確認を行うことを目的として現地調査を実施する。

また、2・3号機海水配管トレンチ充填作業の実施状況や4号機使用済燃料プール内燃料取り出しの状況について、東京電力より説明を受ける。

実施に当たっては、廃炉監視に関する本協議会の活動を県民に広く周知するため、県政記者クラブ加盟各社に同行取材を案内する。

2 日 時

平成26年12月24日（水） 10時00分～15時00分

3 場 所

東京電力(株)福島第一原子力発電所（双葉郡大熊町及び双葉町）

4 出席者

- (1) 廃炉安全監視協議会構成員（専門委員、関係市町村、県生活環境部）
- (2) 説明者 東京電力株式会社

5 調査内容

(1) 調査項目

- ア 3号機使用済燃料プール内ガレキ撤去作業について
- イ 構内汚染水処理設備について（RO濃縮水処理設備等）
- ウ フランジ型タンクの解体作業について
- エ 2・3号機海水配管トレンチの充填作業について
- オ 4号機使用済燃料プール内燃料取り出し状況について
- カ J6エリア移送ラインでのALPS処理水の漏えいについて

(2) 現場確認

- ア 3号機使用済燃料プール内ガレキ撤去作業現場（リモート操作室）
- イ RO濃縮水処理設備
- ウ フランジ型タンクの解体作業現場（タンクエリア、一時仮置エリア、減容エリア）
- エ J6エリア移送ラインでのALPS処理水の漏えい現場

以上